

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される試料・診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】高齢者に対する腹腔鏡下肝切除手術の有用性と安全性の検討

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2017年1月から西暦2020年10月までの間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院 肝胆膵外科
- 3) 対象者：原発性肝細胞癌（肝内胆管癌を除く）と診断され、肝切除を施行された75歳以上の方

【試料・診療情報等の項目】

試料：【腫瘍組織、肝臓組織（診断用既存提出組織）】

診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、手術日、感染症歴、術前・術後採血結果 等】

【研究目的】

近年、B型肝炎やC型肝炎からの肝細胞癌患者様の高齢化に伴い、高齢者で手術を必要とする患者様が増えてきています。腹腔鏡下肝切除が保険適応となり開腹手術とならび標準術式となっていますが、腹腔鏡下手術を受ける年齢の明確な上限値は定められていません。

今回、高齢者に対する腹腔鏡手術の有用性と安全性を開腹手術と比較検討し、高齢者への適応を考察します。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦2025年11月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する試料・情報の管理責任者）：

久留米大学医学部外科講座 肝胆膵部門 助教 助教 野村頼子

問い合わせ担当者：久留米大学医学部 外科学講座 肝胆膵部門 助教 野村 頼子

電話：0942-31-7902（内線 3541）

E-mail: nomura_yoriko@med.kurume-u.ac.jp